

## (1) 平成25年12月 死亡災害発生速報

(平成25年12月8日現在)

業種	年別		平成25年		平成24年		増減数	
製 造 業			4		9			△ 5
食 料 品 製 造 業			1		1			
織 維 製 品 製 造 業								
木 材 ・ 木 製 品 ・ 家 具 ・ 装 備 品 製 造 業								
パ ル プ ・ 紙 加 工 品 等 製 造 業								
印 刷 ・ 製 本 業								
化 学 工 業								
窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業					1			△ 1
鉄 鋼 業			2					2
非 鉄 金 属 製 造 業								
金 属 製 品 製 造 業			1		1			
一 般 ・ 電 気 ・ 輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業					3			△ 3
電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 業								
そ の 他 の 製 造 業					3			△ 3
鉱 業								
土 石 採 取 業								
建 設 業			10		17			△ 7
土 木 工 事 業			3		8			△ 5
建 築 工 事 業			5		6			△ 1
木 造 等 家 屋 建 設 業			2		1			1
そ の 他 の 建 設 業			2		3			△ 1
運 輸 交 通 業			4	(2)	8	(4)		△ 4 △ 2
道 路 旅 客 運 送 業					1	(1)		△ 1 △ 1
ハイヤー・タクシー業								
バス業					1	(1)		△ 1 △ 1
道 路 貨 物 運 送 事 業			4	(2)	7	(3)		△ 3 △ 1
貨 物 取 扱 業								
港 湾 運 送 業								
農 業 ・ 水 産 業 ・ 畜 産 業			1					1
林 業					1			△ 1
そ の 他 の 事 業			12	(3)	12	(6)		△ 3
卸 売 業 ・ 小 売 業			4	(1)	4	(3)		△ 2
通 信 業					1	(1)		△ 1 △ 1
医 療 保 健 業								
社 会 福 祉 施 設 業								
飲 食 店								
清 掃 業 ( 除 く ビ ル メ ン )			4		2			2
ビ ル メ ン テ ナ ン ス 業			1	(1)	1			1
警 備 業					1			△ 1
そ の 他 の 各 種 事 業			3	(1)	3			
全 産 業 計			31	(5)	47	(10)		△ 16 △ 5
全 国 死 亡 者 数			734	(155)	906	204		△ 69 △ 21
九 州 ・ 沖 縄			83	(17)	118	22		△ 21 5

- (注) 1 労働基準監督署からの災害報告(災害速報)の集計(死傷病報告の集計値とは異なる)である。  
2 破線の右欄は内数で交通事故を表す。  
3 全国、九州・沖縄の死亡者数は平成25年10月末現在の厚生労働省速報値である。



(3) 平成25年 署別・業種別死亡災害発生状況

業 種	署 名													合 計	前年値	増減数					
	福岡中央	大牟田	久留米	飯塚	北九州西	北九州東	門司支署	田川	直方	行橋	八女	福岡東									
製 造 業					2	1	1							4	9	△5					
鉱 業																					
採 石 業																					
建 設 業	2	1	1		1					2			3	10	17	△7					
土 木 工 事 業			1										2	3	8	△5					
建 築 工 事 業	2	1								1			1	5	6	△1					
木造等家屋建設工事	1									1				2	1	1					
その他の建設業					1					1				2	3	△1					
運 輸 交 通 業	1	1								1			2	4	2	8	4	△4	△2		
道路貨物運送業	1	1								1			2	4	2	7	3	△3	△1		
貨 物 取 扱 業																					
農 業 ・ 水 産 業 ・ 畜 産 業													1	1			1				
林 業																1		△1			
そ の 他 の 事 業	1	1	1	1	1	2	3	2				1		2	12	3	12	6	△3		
卸 ・ 小 売 業	1	1		1	1	1									4	1	4	3	△2		
医 療 保 健 業																					
社 会 福 祉 施 設 業																					
飲 食 店																2		△2			
清掃業(除くビルメン)			1			1							2	4			4				
ビルメンテナンス業							1	1							1	1	1		1		
警 備 業																	1		△1		
その他の各種事業							2	1							3	1	4	3	△1	△2	
全 産 業 計	4	2	2	2	1	5	4	2	1				4	8	1	31	5	47	10	△16	△5
前 年 値	11	4	1	8	2	7	2	8	3	1		1		2	1	5	1	47	10		
増 減 数	△7	△2	1	△6	△2	△6	△2	△3	1	1	1	△1		2	△1	3		△16	△5		

(注) 1. 労働基準監督署からの災害報告(災害速報)の集計(死傷病報告の集計値とは異なる)である。

2. 死亡災害の右欄は内数で交通事故を表す。

(4) 平成25年 事故の型別死亡災害発生状況

業種	事故の型																				合計		
	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	巻き込まれ・巻き込まれ	こすれ・すれ	踏み抜き	おぼれ	物との接触	高温・低温の接触	有害物と触	感電	爆発	破裂	火災	「交通道路事故」	「交通その他事故」	無理な反動作		その他	分類不能
製造業					1		2								1								4
鉱業																							
採石業																							
建設業	5			2	1		2																10
土木工事業	1			1	1																		3
建築工事業	3						2																5
木造等家屋建設工事	2																						2
その他の建設業	1			1																			2
運輸交通業							1	1										2					4
道路貨物運送業							1	1										2					4
貨物取扱業																							
農業・水産業・畜産業				1																			1
林業																							
その他の事業	4				1	1	2			1								3					12
卸・小売業	2						1											1					4
医療保健業																							
社会福祉施設業																							
飲食店																							
清掃業(除くビルメン)	1				1	1	1																4
ビルメンテナンズ業																		1					1
警備業																							
その他の各種事業	1									1								1					3
全産業計	9			3	3	2	7			1					1			5					31
前年値	11	1		2	3	2	13			1	2				1			10	1				47
増減数	△2	△1		1			△6				△2							△5	△1				△16
増減率(%)	△18	△100		50			△46				△100							△50	△100				△34

(注) 1. 労働基準監督署からの災害報告(災害速報)の集計(死傷病報告の集計値とは異なる)である。



(6) 平成25年 死亡災害発生事例 (公開用)

番号	発生日時 (曜日)	業種	労働者数	年齢 性別	災害発生状況	事故の型	起因物	備考
1	4:00～ 5:00 (水)	その他の 清掃・と 畜業	30～49	40代 男	下り坂の路上で、ゴミ収集車の運転者が運転席を降り、前方の可燃物ゴミを収集していたところ、ゴミ収集車が動き出し、車の前方でゴミ収集の作業を行っていた運転者が腹部に激突、搬送先の病院で約1時間半後に死亡したものの。	激突され	トラック	
2	13:00～ 14:00 (木)	その他の 清掃・と 畜業	50～99	60代 男	ゴミ焼却施設の溶融炉整備作業において、除去したクリンカ(炉壁に付着した塊)を炉下部のマンホールから排出していた際、クリンカが詰まって掻き出せなくなったため、被災者と同僚1名が炉内に入り、炉底から約2.7mのクリンカ上に立って、同僚が約10分間、金属棒でクリンカを突ついた後、被災者に交代して約5分後、突然、クリンカが崩壊し、被災者は頭を下にして腹まで埋まり、約1時間後に救出されたものの窒息により死亡したものの。	崩壊、倒壊	炉、窯	
3	8:00～ 9:00 (火)	製鉄・製 鋼・圧延 業	100～299	50代 男	操業準備中の電気炉において、回転させていた電炉蓋中央部に設置してある黒鉛電極(φ714×2,700,3本継ぎ)が把持部で折れ、倒壊し、倒壊した黒鉛電極(長さ約5m)が電気炉作業床面より滑落し、下部の作業通路を歩行中の作業者に激突、作業者は内蔵損傷等により死亡。	崩壊、倒壊	炉、窯	
4	13:00～ 14:00 (火)	畜産業	30～49	30代 男	被災者がトラクターショベルを運転し、高さ約7メートル、勾配90度のたい肥堆積物を採取していたところ、約10立方メートルのたい肥が落下、同たい肥の直撃を受け死亡したものと推定される。	飛来、落下	その他の 起因物	
5	14:00～ 15:00 (火)	その他の 廃棄物処 理業	30～49	40代 男	35tトレーナーの荷台に積んでいた鉄スクラップを、アタッチメントを換えたドラグショベル2台(1台はグラブ、1台はリフティングマグネット)を用いて地上へ下ろしていたところ、荷台上で作業していた当該トレーナーの運転手が、リフティングマグネットの下敷きになり死亡したものの。	はさまれ、巻き 込まれ	移動式ク レーン	
6	15:00～ 16:00 (水)	木造家屋 建築工事 業	1～9	70代 男	自社店舗兼住居併用建物の改修工事現場において、代表者と被災者の二人で、地上から6.4メートルの高さの足場上で、棟木付近の防水シート貼りを行っていた際、被災者が棟木と垂木部の繋ぎ斜材の一部を切り落とすため、のこぎりを取りに足場を降りる途中、足場上(幅500ミリ)で転倒し、作業床と手摺の間(450ミリ)から3.6メートル下のコンクリート土間に後頭部より墜落し死亡したものの。	墜落・転落	足場	

## (6) 平成25年 死亡災害発生事例 (公開用)

番号	発生日時 (曜日)	業 種	労働 者数	年齢 性別	災害発生状況	事故の型	起因物	備 考
7	10:00～ 11:00 (金)	その他の 事業—そ の他	1～9	20 男	長門市仙崎の青海島海水浴場のダイビングスポットの下見のために3名で出掛け、ボンベを担いで海に入り、泳いでいたところ、40分程後被災者とはぐれたため、海上保安庁へ一報をいれ、捜索をおこなったところ、翌朝沖合50mのところで遺体が発見されたもの。	おぼれ	水	
8	16:00～ 17:00 (月)	木造家屋 建築工事 業	1～9	67 男	木造2階建家屋の屋根瓦葺替え工事において、1階屋根軒先部分の野地板を取り替えるため、古い板を取り外し、隅木近く垂木に載ってホウキで清掃していたところ、足を載せた垂木が取り付け部から曲がり、バランスを崩し、転落した。なお、足を載せた垂木は隅木近くで、軒桁に支えられておらず、作業者の体重で曲がったもの。	墜落・転落	仮設物 建築物 構築物等	
9	2:00～ 3:00 (金)	道路貨物 運送業	10～29	44 男	被災者は6月6日10時30分に事業場で対面点呼後、10トン大型トラックで山口県宇部市の倉庫に向かい、荷(堆肥袋)の積み込みを行った後、高速(山陽自動車道)で配送先である名古屋市内へ向かっていたところ、新名神高速道路上り線亀山ジャンクション付近で渋滞して停車していた車両の列に追突し、死亡したもの。	交通事故(道 路)	トラック	
10	15:00～ 16:00 (水)	その他の 建築工事 業	1～9	63 男	被災者は、S造平屋倉庫(最高高さ12メートル)のスレート屋根の雨漏り補修工事に従事し、スレート屋根の雨漏り箇所(約50箇所、穴直径1センチメートル程)を補修材(コーキング剤)で埋める作業を行っていた際に、スレート屋根(厚さ:5mm)を踏み抜き、7.39メートル下の倉庫内プレハブ事務所上に墜落し、死亡したものの。	墜落・転落	屋根、は り、も や、け た、合掌	
11	16:00～ 17:00 (土)	自動車小 売業	50～99	57 男	出先の自動車販売店からショールームの天井から雨漏れの連絡があり、被災者が屋外展示場の屋根にのぼり、雨漏れ箇所の確認や補修作業を行っていたところ、展示場の採光のために、屋根の一部がガラスとなっていた箇所を踏み抜き、約6.3m下のアスファルトに墜落し、死亡したものの。	墜落・転落	屋根、は り、も や、け た、合掌	
12	20:00～ 21:00 (金)	その他の 食料品製 造業	10～29	34 男	氷砂糖製造機(縦4.3m×横1.2m×高さ1.4m)上に設けられている蜜投入用のバルブを閉止後、機械上の端を歩いて操作盤方向に戻っていたところ機械内に墜落し、回転体(1rpm)に右足を巻き込まれ、40分後に救出されたものの出血性ショック死したものの。	はさまれ、巻き 込まれ	食品加工 用機械	

## (6) 平成25年 死亡災害発生事例 (公開用)

番号	発生日時 (曜日)	業種	労働者数	年齢 性別	災害発生状況	事故の型	起因物	備考
13	11:00～ 12:00 (水)	保険業	1～9	56 男	グループ会社事務所のスレート屋根の補修工事をするにあたり、当該屋根の雨漏り箇所を確認していたところ、スレート屋根を踏み抜き高さ約5.9メートル下のコンクリート床面に墜落し、後頭部を打ち死亡したもの。なお、スレート屋根上に歩み板等は設けられていなかったもの。	墜落・転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	
14	10:00～ 11:00 (土)	その他の卸売業	10～29	74 男	敷地内で、社員が運転するフォークリフトに木製パレット17段(約2.4m)を積んで前進した際に、アルバイト作業員が同フォークリフトにひかれ、約1時間後、搬送先の病院で死亡したもの。	はさまれ、巻き込まれ	フォークリフト	
15	16:00～ 17:00 (火)	その他の建築工事業	1～9	44 男	石膏船積設備の地下通路(長さ17m×幅2.6m×高さ約1.4m)の埋戻し作業をミニドラグ・ショベル(機体重量870kg)を運転して行っていたところ、地下通路の天井とミニドラグ・ショベル運転席の安全バーに首を挟まれ死亡したもの。	はさまれ、巻き込まれ	整地・運搬・積込用機械	
16	8:00～ 9:00 (土)	砂防工事業	1～9	43 男	現場において、仮設道路(幅約4メートル、勾配約14%)を後進中の車両積載形トラッククレーンが法肩から脱輪して約5m下に転落した際、助手席から車外に投げ出された被災者が車両積載形トラッククレーンの下敷きになり死亡したもの。	墜落・転落	移動式クレーン	
17	17:00～ 18:00 (金)	その他の土木工事業	1～9	52 男	宅地造成工事現場において、1名がスコップ、もう1名が手持ち式はつり機を持って鋼矢板のそばで手掘り作業を行っていたところ、鋼矢板が傾き出して土砂が崩壊し、2名が生き埋めになったもの。1名は自力で脱出し、手持ち式はつり機で作業を行っていた被災者は約15分後に救出されたが、その後死亡が確認されたもの。	崩壊、倒壊	地山、岩石	
18	11:00～ 12:00 (火)	機械器具設置業	1～9	26 男	4トントラックから荷卸し作業中、重さ約600キロのキャスター付の加工機械が荷台から落下し、地上で作業していた被災者の頭部に激突し、死亡したもの。	飛来、落下	機械装置	
19	15:00～ 16:00 (木)	ビルメンテナンス	300～499	68 女	15:00に病院の清掃業務が終了したため、会社の車で被災者らを自宅まで送っていく途中、約20km/Hで電信柱へ激突し、助手席に乗車していた被災者は、胸を強く打って死亡したものの。	交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク	

## (6) 平成25年 死亡災害発生事例 (公開用)

番号	発生日時 (曜日)	業 種	労働 者数	年齢 性別	災害発生状況	事故の型	起因物	備 考
20	20:00～ 21:00 (土)	その他の 小売業	10～29	55 男	山口県内の業務を終え帰社する途中、九州縦貫道下り線7.2kmポスト付近で、事故処理の影響で渋滞していた最後尾の車両(乗用車)に追突した。なお、被災者らが乗車していた車は、代車で、通常乗っている社用車は修理中であった。また、事故のあった7.2kmポストは見通しのいい直線である。	交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク	
21	15:00～ 16:00 (月)	その他の 建築工事 業	10～29	33 男	災害復旧工事現場において移動式クレーンを使用しての生コン打設作業終了後、被災者は、アウトリガーを収納し、敷板を片付け、作業日報に作業終了の確認のサインを受領するため、パーキングブレーキをかけ、ホイールクレーンのエンジンを停止し、運転席から降りたところ、角度9度の坂道に停車していたホイールクレーンが動き出し、坂を下り始め、ホイールクレーンに巻き込まれたもの。	はさまれ、巻き込まれ	移動式クレーン	
22	22:00～ 23:00 (月)	一般貨物 自動車運 送業	10～29	58 男	荷主先のプラットフォーム内において、4トントラックの荷台から台車に乗った荷物(ピザ生地ミキサー、高さ165cm、約300kg)を被災者を含む2名で下していたところ、台車の前輪がプラットフォームの溝(幅9.5cm、深さ1.3cm)にはまり、荷物がバランスを崩して転倒し、台車前方でしゃがんで荷物を移動させていた被災者に激突したもの。	激突され	荷姿の物	
23	3:00～ 4:00 (水)	一般貨物 自動車運 送業	50～99	27 男	片側一車線の路側帯の幅が狭い道路で、左前輪がバンクして停車中の中型トラックに、前方不注意で気付くのが遅れたため、大型トラックが追突し、反動で中型トラックは道路脇の側壁に衝突。被災者は、中型トラックの左側と側壁の間に倒れ、死亡していたもの。	交通事故(道路)	トラック	
24	14:00～ 15:00 (水)	産業廃棄 物処理業	30～49	64 男	産業廃棄物処理業の工場内にある、廃コンクリート破砕機(商品名:インパクトクラッシャー)の選別工程部分(ピッキングエリア)の内側に付いたコンクリートを電動ピックで研って(はつって)取り去った後、蓋(ふた)を閉じて密閉するため、地上高さ約4.3メートルの通路付近で蓋のボルト締め作業を行っていた際に、地上に墜落したもの。	墜落、転落	混合機、粉碎機	
25	10:00～ 11:00 (月)	一般貨物 自動車運 送業	30～49	47 男	駐車場において、セミトレーラの車体とトラクタの連結作業を行っている時、車体のサイドブレーキを掛けていなかったため車体が動きだし、トラクタの荷台部分から降りた被災者が、車体と隣のレーンにおいてあったコンテナ架台との間に挟まれ死亡したもの。被災者は一人で作業をしており、約30分後に同僚が被災者を発見した。	はさまれ、巻き込まれ	トラック	

## (6) 平成25年 死亡災害発生事例 (公開用)

番号	発生日時 (曜日)	業 種	労働 者数	年齢 性別	災害発生状況	事故の型	起因物	備 考
26	17:00～ 18:00 (月)	その他の 小売業	50～99	25 男	被災者は、店舗内において、飲料品陳列棚への商品の補充作業を脚立に乗って行っていたところ、右足の踏み位置を変えた際に足を踏み外してバランスを崩し、床面に墜落し、9日後の10月30日に死亡したものの。	墜落、転落	はしご等	
27	10:00～ 11:00 (木)	その他の 金属製品 製造業	1～9	68 男	会社の作業ヤードにおいて4名で鉄板の加工作業を行っていた際、作業場が狭くなったことから、隣接する移動テントを動かすため、被災者はこれを固定していたチェーンブロックをはずす作業をおこなっていたところ、運転手がホイスト式橋型クレーン(吊り上げ荷重2.8T)を走行させたため、クレーン走行経路上で当該作業に従事していた被災者がクレーンの脚部とテントの建地の部材の間に挟まれ、死亡したものの。	はさまれ、巻き 込まれ	クレーン	
28	11:00～ 12:00 (土)	機械器具 設置工事 業	1～9	26 男	倉庫の屋根上で施工していた太陽光パネル設置工事において、屋根上で作業を行っていた被災者が、明り取り用のガラス窓を踏み抜き、約9m下の倉庫内コンクリート路面に墜落し、死亡したものの。	墜落、転落	屋根、は り、も や、け た、合掌	
29	13:00～ 14:00 (月)	製鉄・製 鋼・圧延 業	100～299	33 男	電磁鋼板工場において、液化天然ガスが過剰供給された焼鈍炉の炎の強さを労働者3名で調整していたところ、液化天然ガス供給元栓と焼鈍炉をつなぐフレキシブルホースの炉側が抜け、当該ホースが液化天然ガスを吹きながら暴れ、何らかの原因で引火したため、当該ホースの近くにいた労働者1名が焼死し、他の2名が火傷を負った。	爆発	炉、窯	
30	0:00～ 1:00 (木)	上下水道 工事業	1～9	27 男	夜間の道路工事において、ドラグショベルで道路を掘削し、アスファルトのガラを旋回して後方の4トンダンプトラックへ積み込む際に、アスファルトのガラが落下して付近で作業を行っていた被災者が下敷きになり死亡したものの。なお、ガラは、長さ200cm、幅90cm、厚さ33cm、重さ約1.2トン。	飛来、落下	掘削用機 械	
31	13:00～ 14:00 (日)	その他の 事業	50～99	67 男	北九州高速道路1号線横代料金所入口において、被災者はブースで徴収業務に従事していた際、レーンを横切って隣のブースに書類を届けて戻る途上、進入してきた乗用車にはねられ死亡した。	交通事故(道 路)	乗用車、 バス、バ イク	